

理想のマイホームづくり
センスの良さと体験の積み重ねが
本物に繋がる

Eさんのお宅に二歩入ると、どこか懐かし
く温かな雰囲気になります。ドアやモール
ディング、階段など無垢材をふんだんに使い、
インテリアと共に家具も全て重厚感あるマホ
ガニーの色合いで統一。自然素材を活かした、
ぬくもり溢れる空間が広がります。

ご夫妻がマイホームについて考えたとき、必
ず取り入れたい、揺るぎない希望がありまし
た。まず外観は、総レンガの肌。チボリとい
う色合いまで、最初から決めていた奥さま。自
然な風合いと表情のある見た目に惹かれ、経
年変化が楽しめること、メンテナンスフリーな
点も、その理由です。

また、インテリアに関しても様々なこだわ
りがありました。洋画や海外旅行が大好き
で、とくに奥さまはLA滞在経験もあるなど、
外国文化に慣れ親しんできたお二人。欧米の
住宅を魅力的に見せている「らしり」とした
モールドディングは不可欠で、しかも廻縁幅を
最大限広くし、色合いもマホガニーで、と確定
していたそうです。さらに、存在感のあるマン
トルピースをリビングに、シンメトリーが美しい
ジョージアンスタイルをベースに、など具体的
な思い入れが数多くありました。

こうなると、新居の選択肢は必然的に輸
入住宅に絞られます。日本のハウスメーカーで
は、外国風にはできません。本物ではなく、ま
たノウハウや実績が少なく割高になることも。
結果、無理だと断られたり、妥協せざるを得
なかつたりと限界がありました。その点、セル
コは標準仕様で北米規格。理想の家を建てる
なら「ここで、建築を決意したそうです。

色合い、質感、テイスト
全てを揃えることで
調和が生まれる空間に

Eさん邸のテーマは、「クラシックで暮らしや
すい家」。非日常感を演出するおしゃれな空
間に、ホテルライクなゆとりある居心地の良
さを融合したイメージです。

リビングの主役となるのはマントルピース。
両脇に窓やシェルフを対称的に配置し、ピン
テージのソファやテーブルなども見事にマッチ。
ダイニングキッチンへの開口部には重厚感ある
モールドディングが施され、その向こうにはバー
カウンターを中心に吊り戸棚などが同じくシ
ンメトリーに構成されています。

「このバーカウンターは、自分で一旦、塗装を落
としてから、モールドディングに使った同じ塗料で
納得のいく色合いまで塗ったんです」と話すご
主人。実は、マントルピース脇のシェルフや玄関
にあるベンチ収納など、ご主人自ら作ったとい
う家具が、アンティークの数々と共にレイアウト
されており、全てが完璧に調和。インテリア
全体のバランスを考慮し、サイス感や色合いま
で計算されており、統一感ある美しさを生み
出しています。

家づくりの過程について奥さまに何うと、
「間取りは、私たちのライフスタイルにあったシ
ンプルなレイアウトで、そこまで悩まずに済み
ました。一方、インテリアなどこだわった部分
は、方向性は決まっていたけれど、細かい
パーツの組み合わせを迷うなど、なかなか簡単
には進まず。好きな映画のシーンを見直した
り、建築中に職人さんに微調整してもらった
りしながら、仕上げていきました」とのこと。
プランニングからおよそ2年がかりで、念願の
マイホームができました。

インテリアの統一感が生み出す美しさ
家族と共に年月を重ねていく家
静岡県E氏邸

厳しい気候のため、断熱・気密技術、24時間換気システムなどの分野で
多くの技術開発が行われてきたカナダ住宅。
セルコホームでは、カナダのツーバイフォー住宅を独自の基準でさらに進化させ、
どんな環境でも安全・快適に暮らせる住まいを実現しました。
今回訪れたのは、新築ながらも長い歴史を感じさせるような、落ち着いた雰囲気が漂うEさん邸。
家中、どこを切り取っても画になる、重厚感ある佇まいが印象的なお宅でした。

上:リビングとダイニングキッチンは、ひと続きにレイアウト、標準よりも天井を20cm高くしてより開放的
な空間に 右:キッチンの壁に沿って配したシックな色合いのモザイクタイルや温かな灯りのライトが食
卓を彩る 左:ランドリールームに繋がる隠しドア。キッチン側はディスプレイラックとして



右上: エントランスとリビングを区切るドアも重厚感たっぷり 右下: ベンチ収納は、なんとご主人のお手製。玄関の奥行サイズにぴったり合うように、家づくりと同時進行で仕上げた 左上: バーカウンターを中心に開口部から真正面に見たときの左右対称な姿は、ため息の出るような美しさ 左下: ピンテージの照明が温かな空間をやさしく演出



上: リビングとダイニングキッチンは、ひと続きにレイアウト、標準よりも天井を20cm高くしてより開放的な空間に 右: キッチンの壁に沿って配したシックな色合いのモザイクタイルや温かな灯りのライトが食卓を彩る 左: ランドリールームに繋がる隠しドア。キッチン側はディスプレイラックとして



selco
sweet
home

インテリアの統一感が生み出す美しさ
家族と共に年月を重ねていく家

静岡県E氏邸

厳しい気候のため、断熱・気密技術、24時間換気システムなどの分野で
多くの技術開発が行われてきたカナダ住宅。
セルコホームでは、カナダのツーバイフォー住宅を独自の基準でさらに進化させ、
どんな環境でも安全・快適に暮らせる住まいを実現しました。
今回訪れたのは、新築ながらも長い歴史を感じさせるような、落ち着いた雰囲気が漂うEさん邸。
家中、どこを切り取っても画になる、重厚感ある佇まいが印象的なお宅でした。